花巻市国民健康保険運営協議会会議録

1 日 時 令和6年1月11日（木） 午後1時00分

2 会議場所 花巻保健センター2階集団指導室

3 会議日程 別紙次第のとおり

4 協議事項

第3期花巻市国民健康保険保健事業実施計画について

5 会議に出席した委員は次のとおりである。

被保険者代表委員

委員 神山 まさ子

委員 瀬川 行夫

委員 高橋 好子

委員 金澤 千加子

保険医又は保険薬剤師代表委員

委員 中館 一郎

委員 小木田 勇輝（遅参）

委員 多田 建造

委員 坂本 秀樹

公益代表委員

委員 藤本 莞爾

委員 新淵 信郎

委員 富手 由歌里

被用者保険等保険者代表委員

委員 森 慎太郎

委員 遠藤 栄

6 会議を欠席した委員は次のとおりである。

委員 中村 良則

7 会議に出席した職員は次のとおりである。

健康福祉部次長

阿部 勇悦（部長代理）

健康福祉部健康づくり課長

長山 義博

健康福祉部国保医療課長

佐々木 彰子

健康福祉部国保医療課課長補佐

藤原 康之

健康福祉部国保医療課国保係長

川村 牧子

健康福祉部健康づくり課成人保健係長

高橋 朱里

(開会 午後1時00分)

国保医療課長

委員の皆様には、ご多忙の折、御出席を賜りまして大変ありがとうございます。

国保医療課長の佐々木と申します。本日は進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

開会に先立ちまして、会議成立の御報告をいたします。花巻市国民健康保険運営協議会規則第4条に、協議会は委員定数の半数以上、かつ被保険者を代表する委員、保険医又は保険薬剤師を代表する委員、公益を代表する委員、被用者保険等保険者を代表する委員からそれぞれ1人以上の出席がなければ会議を開くことができないと定められております。本日は、公益代表委員の中村良則委員から欠席の報告をいただいております。また、小木田委員は到着されておりませんが、出席される予定となっております。ただ今、定員14名中12名の委員の御出席をいただいておりますので、会議は成立しておりますことを御報告いたします。

なお、現在、マスクの着用は個人の判断となっておりますので、当会議におきましても、マスクの着用につきましては、個人での判断とさせていただきますので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

また、本日は、会議録自動作成システムを利用しておりますので、御発言の際には、マイクをお使いくださいますようお願いいたします。

それでは、ただ今から、花巻市国民健康保険運営協議会を開会いたします。

次第に沿って進めさせていただきます。

はじめに、健康福祉部長より御挨拶を申し上げるところでございましたけれども、本日は別業務対応につき出席がかないませんでしたので、阿部健康福祉部次長が代わって御挨拶を申し上げます。

健康福祉部次長

皆様、健康福祉部次長の阿部と申します。健康福祉部長に代わりまして、御挨拶申し上げます。本日は、年始の御多忙のところ、御出席いただきまして、本当にありがとうございます。

この正月は、雪もなく気候も穏やかかなと思っておりましたが、元日に大きな地震や津波があって、お亡くなりになられた方の御冥福と被災地の復興について、心よりお祈り申し上げます。

当協議会は、例年ですと毎年2月に会議を開催しているところでございますけれども、今年度は「花巻市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」を策定する年となっておりますことから、委員の皆様から計画に対する御意見を頂戴する機会として、今月にも協議会を開催させていただくことで、藤本会長様にお願いをさせていただいたところでございます。

委員の皆様御案内のとおり、国民健康保険は、被保険者数は減少、1人当たりの医療費は増加という状況が続いておりますことから、財政運営も非常に厳しい状況が続いております。

本日、御説明させていただきますこの計画は、国民健康保険に加入している花巻

市民の健康の保持増進を目的として策定する計画でございます。市民が健康であるということは、増え続ける医療費を抑えることにもつながりますので、市民の健康を守るという役割、また国民健康保険の財政運営を安定化させる役割という、市民と市にとって大切な役割を担う計画となっております。

本日は、私どもで作りました計画案に対しまして、委員の皆様から御意見を頂戴し、最終案に向けて仕上げて参りたいと考えておりますので、忌憚のない御意見等を賜りますようお願い申し上げます。開会にあたりましての御挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

国保医療課長

続きまして、花巻市国民健康保険運営協議会藤本会長から御挨拶を頂戴したいと存じます。

会長（藤本莞爾委員）

それでは、開会にあたりまして、一言御挨拶申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、年始のお忙しい中を御出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃から、当協議会の円滑な運営への御協力に対しまして、感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが落ち着きまして、今年は久しぶりに賑やかなお正月になるものと思っていたところですが、能登半島での地震、それから羽田空港での航空機事故という、とても痛ましい出来事が立て続けに起きたところでございます。まずは、被災地へのお見舞いと一日も早い復旧、亡くなられた方への哀悼の意を表する次第でございます。それから、本市におきましては空港もでございます。このような航空機事故が再び起きないことを、切に願うばかりです。

さて、本日は、現在市で策定を進めている「第3期花巻市国民健康保険保健事業実施計画」について、説明をいただきます。花巻市民の健康を守る大切な計画となりますので、委員の皆様から忌憚のない御意見を頂戴し、実りある計画にしてもらいたいと思っておりますのでございます。

それでは、スムーズな議事進行に御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。開会にあたりましての御挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

国保医療課長

ありがとうございました。

それでは、議事に入らせていただきます。

会議の議長は、花巻市国民健康保険運営協議会規則第6条の規定によりまして、会長が当たることとなっておりますので、藤本会長、よろしくお願いいたします。

会長（藤本莞爾委員）

それでは、私のほうから議事を進めさせていただきますので、お手柔らかにお

願いをいたします。

まず、最初に本日の会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、多田建造委員と冨手由歌里委員にお願いいたします。よろしく
お願いいたします。

それでは、初めに報告に入ります。

報告第1号「令和5年度花巻市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」及び
報告第2号「令和5年度花巻市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」に
つきまして、一括して当局より報告をお願いいたします。

（国保医療課長、挙手）

会長（藤本莞爾委員）

国保医療課長。

国保医療課長

報告事項の説明に入る前に、若干の補足をさせていただきたいと存じます。

これまで「国の制度改正によるもの」や「財政運営上慣例として必ず実施しな
ければならないもの」という政策判断を伴わないものにつきましては、報告事項と整
理させていただくことで、委員の皆様にご了承をいただいております。

これから御説明する報告事項につきましては、そのような理由によりまして、す
でに議会にお諮りし、御承認いただきました内容となっております。

資料に基づき報告第1号及び報告第2号の内容について説明。

会長（藤本莞爾委員）

ありがとうございました。当局から説明をいただきました。

これに対しまして、委員の皆様から御質問、御意見がございましたら、お願い
いたします。

（遠藤栄委員挙手）

会長（藤本莞爾委員）

遠藤委員。

遠藤栄委員

最後の第2号のほうですが、保健事業費の補正予算109万2,000円につきま
しては、特定健康診査を受けられた方が多かったということですのでよろしい
のでしょうか。

会長（藤本莞爾委員）

国保医療課長。

国保医療課長

こちらにつきましては、健康診査を受けられた方が多いということではなく、その事業に係る方の人件費増額に伴うものでございます。

会長（藤本莞爾委員）

ご理解いただけましたでしょうか。

遠藤栄委員

ありがとうございました。

会長（藤本莞爾委員）

そのほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

会長（藤本莞爾委員）

それでは、質問、意見が無いようですので、報告第1号及び報告第2号については、以上で終わります。

続きまして、協議に入らせていただきます。

「第3期花巻市国民健康保険保健事業実施計画について」を議題といたします。当局からの説明を求めます。

（健康づくり課長、挙手）

会長（藤本莞爾委員）

健康づくり課長。

健康づくり課長

それでは、第3期花巻市国民健康保険保健事業実施計画につきまして、御説明させていただきます。

この計画につきましては、生活習慣病の発症及び重症化予防に取り組みながら、国民健康保険被保険者の健康の保持増進を図ることで、健康寿命の延伸、そして医療費の適正化を図ることを目的に計画を策定し、実施しているところでございます。

現在の計画は、第2期としまして、平成30年度から令和5年度までの6年間の計画期間として実施しているところでございます。本年度でこの計画期間が終了しますので、次期、第3期ということで、令和6年度からさらに6年間、令和11年度までの計画として、現在策定を進めているところでございます。

詳しい内容につきましては、健康づくり課の高橋成人保健係長から説明させていただきます。これまでの実績を振り返りながら、第3クールではどのようなことが必要かということ踏まえて、素案として、現在作成しているものでございます。

審議のほど、よろしくお願ひしたいと思います。

健康づくり課成人保健係長から資料に基づき計画の内容について説明

会長（藤本莞爾委員）

ありがとうございました。当局から説明をいただきました。

これに対しまして、委員の皆様から御質問、御意見がございましたら、お願いいたします。

（瀬川行夫委員、挙手）

会長（藤本莞爾委員）

瀬川委員。

瀬川行夫委員

私は、健康診断をドックで一括で受けているのですが、花巻市にはドックを受けると補助金をいただける制度があります。大変な金額なのですが、ドックではなく、一般的に受けてもあのように経費がかかっているのか。余分にいただいているのであれば申し訳ないので、一般に健診を受けたほうがよいのかと思っているのですが、教えていただければと思います。

（国保医療課長、挙手）

会長（藤本莞爾委員）

国保医療課長。

国保医療課長

人間ドックについてのお尋ねでしたけれども、当市の国保被保険者に対しましては、上限2万円という制度がございます。

こちらでお受けしている申請を見ますと、かなり金額にばらつきがありまして、高額な方もいらっしゃいますので、それぞれの医療機関の設備の関係や受ける種類などにもよると思いますが、もらいすぎているということはないかと思えます。ぜひ受診していただいて、健康を保っていただければと思いますので、これからもこの事業は継続してまいりたいと考えております。

瀬川行夫委員

ありがとうございました。

会長（藤本莞爾委員）

ほかにございませんか。

（森慎太郎委員、挙手）

会長（藤本莞爾委員）

森委員。

森慎太郎委員

データヘルス計画の資料を拝見させていただきまして、協会けんぽも被用者保険として、今第3期の計画を作っているところですが、実は花巻市の分析結果とほぼ同じで、県内の加入者で見ますと、脳血管疾患の死亡率が全国ワースト、脳血管疾患の入院医療費も全国より突出して高いということになっております。

健診結果を見ても同じで、体重、BMIが全国平均よりも高い、血圧が高い。そういうところから、脳血管疾患の罹患に至っているのかなという推測もしております。資料を見ますと、肥満に関しましては、子供の頃からの傾向だということで、国保の前に加入する被用者保険の立場として、責任と使命感を感じております。

意見、質問ですが、国保の健診の受診率につきまして、分母は国保加入者という理解でよろしかったでしょうか、市民の方ではなく。御説明のなかで、被保険者数は減少傾向にありながら、受診率自体はほぼ横ばいでしたので、未受診の方というのは、ある程度特定の方なのかと考えておりまして、いろいろな理由があるのかと思います。自分は絶対に受診したくないという人もいれば、定期的に病院を受診しているので健診を受けなくていいという方もいらっしゃるかと思いますが、健診を受けていただいて、結果をもらって、希望の方には特定保健指導でアプローチをするしかないのかなと思っておりますので、未受診者へのアプローチで何か取組を考えているところがあれば、参考にさせていただければと思います。

（健康づくり課長、挙手）

会長（藤本莞爾委員）

健康づくり課長。

健康づくり課長

ありがとうございます。

現段階での取組としましては、医師会の先生方にも御協力をいただきながら、各病院にも健診を受けていたとしても「健診は大切です。受けてください。」というような呼びかけや院内に掲示していただくなどの周知といった取組をしている中でございます。

また、受診勧奨の中で、どうしてもスルーされる方々がいらっしゃいますので、いくら勧奨を何回出しても、ヒットしないというような状況の中でどうしたらいいのかということ、令和元年にAIを使って、試行的に取り組んだことがございます。例えば、各種健診の間診票等の情報から、この方がどのようなタイプと申しますか、どのようなものに関心があって、どのようなアプローチをすると興味を示していただけるのか、ということ、企業と連携しまして。企業のほうではAIを使って分析をしまして、変わった切り口、例えば、こんなに高い健診をこのくらいで受

けられますよというような周知の仕方をしたり、言葉が悪いのですが危機感をあおってみたり。そのように分析をした上で、タイプ別に分けて受診勧奨をしたところ、次の年に効果が出たという実情もございますので、もう1回改めて今年度からまたAIを使った分析をして、その方々に合った受診勧奨の仕方というのを、今取り組んでいるところでございます。

来年度あたりから、その結果がだんだん出てくるのかなと思っているところでございます。

森慎太郎委員

ありがとうございました。

会長（藤本莞爾委員）

ほかにございませんか。

医師会長からコメントはありませんか。

中舘一郎委員

頑張ってください。

透析の評価が医療費で行われていて、前年比の医療費で見るとというのは問題があるかなと。薬価が改定されたり、保険医療制度が改定されて医療費が下がっているのか、実質的に実態が減っているのか、といったことは反映されていないかもしれない。ですから、そこは一応の目安として僕は評価できると思いますが、本当にそれでいいのかということは考えてみなくていけない。

脳卒中に関しては、全国との比較なので、医療費でもいいかなと思っております。以上です。

会長（藤本莞爾委員）

ありがとうございました。

ほかにございませんか。

（富手由歌里委員、挙手）

会長（藤本莞爾委員）

富手委員。

富手由歌里委員

不勉強で申し訳ないのですが、今が2期の最後ということは、1期があって、2期があって、今度3期になるということだと思うのですが、2期の評価が「C」が多いというのはあまりよろしくないのかなというような感じを受けました。例えば、もう少し改善の傾向が2期に見られていればいいのかなと思いました。ですので、3期に対する目標も同じようなことが挙げられているので、新たな取組にすごく期待したいと思います。

特に、医師会、歯科医師会、薬剤師会、皆で連携して取り組むということが挙げられていたので、すごく期待したいと思いますし、個人的には、もっと民間、例えば農協といった、そういう大きな団体も巻き込んで、健康の推進を図っていったらいいのではないかなと思いました。

会長（藤本莞爾委員）

ありがとうございました。
事務局からコメントありますか。

健康づくり課長

ありがとうございます。
おっしゃる通りだと思います。どうしても軸となるのが行政と三師会という取組になりがちなのですが、健康づくり推進協議会という母体もございまして、その中では各種、農協とか県の保健所等も入って、健康づくりの取組を一体で花巻市として進めておりますので、そのような加入していただいている団体を通じまして、このデータヘルス計画等も含めまして、具体的にその底上げを図っていきたいと考えてございます。

会長（藤本莞爾委員）

ありがとうございました。
ほかにございませんか。

（遠藤栄委員、挙手）

会長（藤本莞爾委員）

遠藤委員。

遠藤栄委員

私も協会けんぽと同じで、医療保険者という立場でデータヘルス計画、それから特定健診、特定保健指導の実施計画等を今策定するという立場であるわけですが、評価につきましては本当に難しいというところがございまして、予防というところでもありますので、なかなか効果が見えないというところ、効果測定について何をもって測るかというのが非常に難しいというところがあります。私どももそうなのですが、数字ありきですが、数字にこだわらないで粘り強く継続して、これだけ立派なきめ細かい計画があるわけですので、これをコツコツとやっていただくというのが本来のところかなというふうに認識しておりますので、頑張っていたらと思います。

それから、私達のところは、被保険者の事業主と事業体という非常に限られている被保険者なので、比較的分析もしやすいし、評価もしやすいというところがありますが、国保については、様々な方々がいらっしゃるということで、取組も結果も非常に難しい、個別に一人一人対応していかなければいけないということで、難し

いところがあるかと思えます。そういった中で、我々が今課題として持っているのは、データヘルス計画は確かに40歳以上ですが、若年層、40代以下、未満の方々が、むしろ肥満傾向の方が非常に多くなっておりまして、40歳代未満の方々についても対策をとということで、課題が来ております。直接、今回のデータヘルス計画には関わらないかもしれないですが、40歳未満の方々についての対策等についても何か検討されていることがあれば、参考までにお聞かせいただければと思います。

(健康づくり課成人保健係長、挙手)

会長（藤本莞爾委員）

健康づくり課成人保健係長。

健康づくり課成人保健係長

ありがとうございます。

肥満については、今回、初めて把握したわけではなく、前から把握していた健康課題でしたので、令和4年度から健康ポイント事業というスマートフォンのアプリを使って、歩数に応じてインセンティブを差し上げるという運動に無関心な方も取り組んでいただけるような事業に取り組み始めているところです。

それについては、国保の被保険者に限らず、全市民を対象に行っておりますけれども、参加している方の年齢層を見ますと、40代、50代、30代の若い方々が比較的多く参加してくださっていると見ておりますので、効果的な事業であると考えております。

会長（藤本莞爾委員）

ありがとうございました。

ほかにございませんか。

(坂本秀樹委員、挙手)

会長（藤本莞爾委員）

坂本委員。

坂本秀樹委員

医療費の問題。どんどん高くなるということで、薬代、薬が多いということも一つ問題になっていると思いますので、私達も連携しながら、医師会、歯科医師会、花巻市とも連携しながら、たくさん薬を飲んでいる方、重複している方、残薬、残っている薬がたくさん自宅にある方は結構いらっしゃいますので、皆様に情報共有をして医療費を削減できたらと思っております。

よろしく願いいたします。

会長（藤本莞爾委員）

ありがとうございます。

いろいろと意見が出たようですが、このあたりで終結させていただいてよろしいでしょうか。

それでは、本日、委員から出されました意見等を検討いただき、来月2月の協議会において、あらためて御説明をお願いします。

以上をもちまして協議は終了とさせていただきます。

次にその他ですが、事務局からありましたら、お願いいたします。

（国保医療課長、挙手）

会長（藤本莞爾委員）

国保医療課長。

国保医療課長

先ほど、会長から来月の協議会の開催についての御案内がありましたが、今回は2月15日（木）を予定してございますので、よろしくお願いいたします。

本日、皆様の席に開催案内の文書をお配りさせていただいておりますので、本日出席報告をしていただくか、後日ファックス又は電話などにより、御提出をお願いいたします。

なお、今回の開催場所は市役所本館となりますので、御承知おきくださいますようお願いいたします。

事務局からは以上となりますが、委員の皆様から何かございますか。

会長（藤本莞爾委員）

委員の皆様からは何かございますか。

（「なし」の声あり）

会長（藤本莞爾委員）

無いようですので、これをもちまして議長の務めを終わらせていただきます。

皆様の御協力に感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

国保医療課長

以上をもちまして、本日の花巻市国民健康保険運営協議会を閉会いたします。

誠にありがとうございました。

（閉会 午後2時5分）